



ましきな

校是：向学 誠実 開拓
与論町立那間小学校
TEL 0997-97-2278
FAX 0997-97-4950



「地域と共に育つ学校を目指して」

那間小学校 校長 有留 雄一郎

今、鹿児島県では学校支援活動から地域学校協働活動へ大きく変わろうとしている。これは学校や子どもたちが抱える課題や、家庭・地域社会が抱える課題を地域ぐるみで解決し、子供たちの健全な成長と質の高い学校教育の実現を図るため、地域の力を学校運営に生かす「地域と共に育つ学校」を目指すものである。

さて、1月26日(水)に行われた持久走大会。校庭を1周した後、竹下商店前を西に向かって駆け上がるコース。県下一周駅伝に出場する山田勇基さん(ハレルヤこども園)、石峯穂垂さん(朝戸郵便局)の伴走をいただいたおかげで多くの子どもたちが大幅に記録更新し、完走できた。1分近く縮めた児童も。これまでの練習とは全く違う子どもたちの必死さが伝わり、最後までデッドヒート演技を演じた学年もあった。レース後の子どもたちの顔には、清々しく、やり切った満足した表情が見られた。これも子どもたちが安全に走る事ができるようにコースの要所で交通整理をして下さったPTA体育部の方々、そして沿道の保護者や地域の方々の熱い声援、急いでいたるうに快く止まって下さった車の運転手の方々など、多くの地域の方々の御支援や御協力があったからこそできた持久走大会。もちろん、大会まで子どもたちを励まし、指導した教職員の力も忘れてはならない。

そして、4年生のきび狩り。これまで児童の祖父である森さんや沖さんがアドバイスや世話をして下さいました。サトウキビの成長がメトロほどに成長したサトウキビ。前日の夕方、大きく育ったキビを数名の保護者が次々と切り倒し、翌日の準備をして下さいました。

2月1日、キビ畑には切り倒されたキビが山のように積み上げられている。刈り取られたキビの葉を落とす作業は短くしなければならぬ作業。2時間で終わるのだらうか？4年生の保護者は慣れた手つきで作業をこなしていく。切り揃えたキビは数十本ずつづくり、一箇所へ運ぶ。私も担ごうとしたがなかなかの重量。そのくくられたキビをひょいと担ぐお父さんたち。子どもたちはその姿に逞しさを感ぜたに違いない。力強い保護者の協力があつたお陰で、何とかその日の作業を終えることができた。担任の有島教諭もホッとした様子だった。4日には与論民俗村での黒糖づくり。小雨の中頑張った黒糖はさぞ美味しかったことだろう。与論だからこその体験活動である。

遠泳大会を含め三線やエイサー、相撲大会(今年は実施できなかった)、環境整備などは多くの方々の協力が不可欠で地域に根ざした教育活動。このように地域の知識や技能、経験、学びの効果が活かされることにより、学校と地域が相互に高め合うことができる。子どもたちは地域の方々と関わり、ほめてもらったり、認めてもらったりすることで自分や周りのことを愛し、思いやりの心が育ち、学校や地域を愛する心が育つ。

今年度、海洋教育の申請を行い、与論のことを学ぶ学習が本格的に始まる。いずれ訪れる「島だち」を念頭に「与論を誇りに思う子ども」、「逞しい子ども」を育成していきたいと考える。今、地域と共に育つ学校を目指して今本校全職員が懸命に令和4年度のカリキュラムを作成している。

今後とも、皆様の御理解と御支援をよろしくお願いいたします。



3月行事予定

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
曜	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	
主な行事	全校朝会	安全点検	くじら号	ゆみんちゆ隊	お別れ遠足					クラブ活動		土曜授業					卒業式予行 クラブ活動	エンヌフトゥバの日			● 春分の日	卒業式練習	卒業式準備	卒業式	修了式 辞任式							